

令和7年4月15日



広報資料

海氷情報センターの閉所について

第一管区海上保安本部は、北海道周辺海域に海氷が認められなくなったことから、本日4月15日をもって今シーズンの海氷情報センターを閉所しました。

第一管区海上保安本部では、海氷に起因する航行船舶の海難を防止するため、昨年12月20日に海氷情報センターを開所しました。

海洋情報センターでは、航空機や巡視船艇及び海上保安部署による海氷観測のほか、協力機関からの情報を集約して、北海道周辺海域の海氷の状況を取りまとめ、海氷速報、航行警報、AIS（船舶自動識別装置）及び海の安全情報により海氷情報を船舶運行者等に提供してきました。

今シーズンは、海氷情報センターで情報提供の対象海域としている北海道周辺海域の北緯46度に海氷の南端が到達した本年1月7日から海氷速報を提供しました。海氷の勢力は2月下旬にピークとなり、その後は徐々に衰退していきました。

本日の人工衛星画像による解析結果により、北海道周辺海域に海氷が認められないこと及び海水温や気温の傾向から北海道周辺海域に海氷が現れる蓋然性が極めて低いことから、海氷情報センターを閉所しました。

今シーズンの海氷情報センター開所期間中、海氷に起因する海難の発生はありませんでした。

なお、今シーズンの海氷状況及び海氷情報センターの活動状況は、別紙のとおりです。

今シーズンの海水状況

1. 今シーズンの海氷の南下状況について

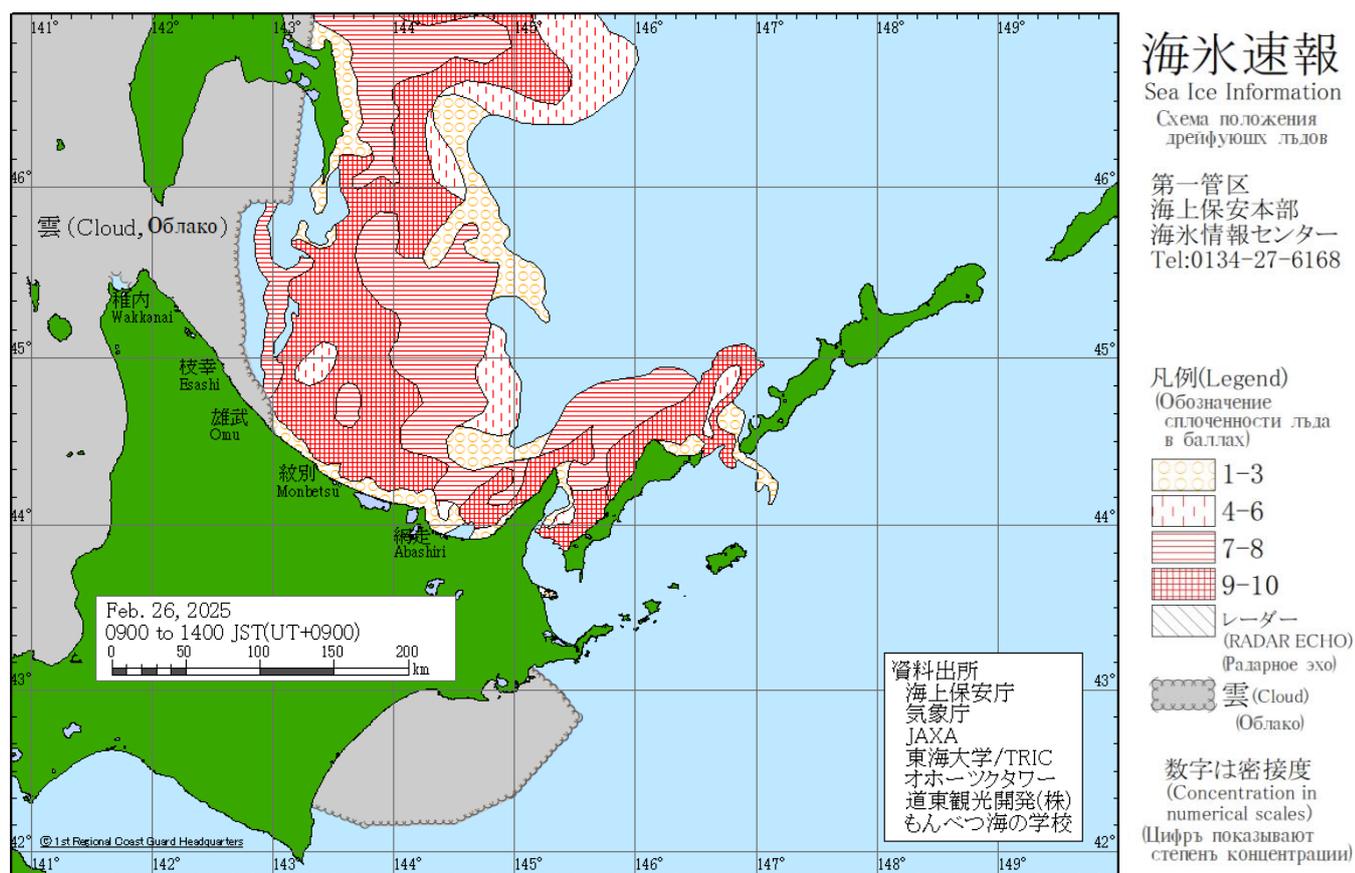
海氷の南下は、昨年より 10 日遅い本年 1 月 7 日に北緯 46 度まで到達しました。

南下を続けた海氷は、令和 7 年 2 月 16 日に網走に接近し、網走で流氷初日を迎えました。平年値である 1 月 26 日より 21 日遅くなりました。

2. 海氷の勢力について

北海道のオホーツク海沿岸の海氷のピークは 2 月下旬頃でした。

(令和 7 年 2 月 26 日の海水速報)



3. 海水情報センターの閉所日について

今シーズンの海水情報センターの閉所日は、昨年の 4 月 18 日より 3 日早く、開設期間は、昨年の 121 日より 4 日少ない 117 日となりました。

海氷情報センターの活動状況

1. 海氷情報センター開設期間の主な活動
航空機による海氷観測
令和7年1月9日～4月8日の期間



海氷観測中の当庁航空機



機内観測風景

2. 海氷情報の入手件数及び提供件数

海氷情報センターでは、海上保安庁による観測のほか、協力機関からの情報を集約して海氷状況を提供しています。

海氷情報の入手件数及び提供件数（令和6年12月20日～令和7年4月14日）

(1) 入手件数

海上保安庁による観測		海上保安庁以外の機関による観測	
・沿岸観測		・沿岸観測	
保安部署	435	独立行政法人 北方領土問題対策協会	4
・巡視船艇	18	オホーツク・ガリンコタワー株式会社	54
・航空機	17	道東観光開発株式会社	41
		もんべつ海の学校	76
		・人工衛星	
		気象庁海洋気象情報室	
		(海氷解析図)	32
		宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	
		(気候変動観測衛星「しきさい」)	230
		(陸域観測技術衛星「だいち2号」)	83
		東海大学情報技術センター	
		(地球観測衛星 AQUA)	172
		(地球観測衛星 suomi NPP 及び JPSS1)	361
合 計 (件)	470	合 計 (件)	1053

(2) 提供件数

・海氷速報	102 件	(昨年：115 件)
・一管区地域航行警報	1 件	(昨年：35 件)
・NAVTEX 航行警報	17 件	(昨年：49 件)
・AIS メッセージ	16 件	(昨年：17 件)
・海の安全情報	10 件	(昨年：36 件)